

「近畿歴史まちづくりサミット in 京都」を開催しました！

歴史まちづくり計画の認定都市や積極的に歴史まちづくりの取組を行っている都市のトップが一堂に集まり、これまでの、そしてこれからの歴史まちづくりの取組を発表しました。多くの皆さまにご来場いただき、各都市の歴史まちづくりの取組をPRするとともに、近畿全体で歴史まちづくりの機運を高める有意義な場となりました。来年度の開催は、奈良県斑鳩町です。

日時：平成27年11月22日(日) 13:30～16:30

場所：上七軒歌舞練場(京都市上京区)

来場者数：約400名

出席者：(市町村) 門川京都市長、大久保彦根市長、藤井長浜市長、富士谷近江八幡市長、
山本宇治市長、安田向日市長、竹山堺市長、津山奈良市副市長、
池田斑鳩町副町長、藤井天理市副市長

(国土交通省) 柳野都市局公園緑地・景観課長、山田近畿地方整備局長

- サミット宣言：
- ① 10都市が先頭に立って歴史まちづくりの取組をより一層推進すること
 - ② 歴史まちづくり認定意義の発信力強化、周知に努めること
 - ③ 歴史まちづくりの情報発信に関する具体的連携を進めること
 - ④ サミットを継続的に開催し、近畿全体で歴史まちづくりの機運を高めること



会場：上七軒歌舞練場



満員の客席



サミット宣言



山田局長の挨拶



柳野公園緑地・景観課長の基調報告



門川京都市長の発表

山田局長の挨拶

近畿歴史まちづくりサミット サミット宣言

長い歴史を有し、地域で多様な文化を継承、蓄積してきた近畿地方において、良好な景観や歴史的まちなみの維持・発展の意義は大変大きく、地方創生や地域活性化の観点からもますます重要となってきている。

歴史まちづくりに関する機運を更に高め、都市の健全な発展、文化の向上、観光振興等を推進するため、我々が力を合わせて取組を進めていくことが求められている。

この度、ここ京都市において、歴史まちづくり計画認定都市を中心とした10都市のトップが一堂に会し、歴史まちづくりに関する情報発信・意見交換を行ったことは大変喜ばしく、意義深いものである。

ここに、近畿歴史まちづくりサミットの開催を記念して、以下サミット宣言を行う。

- 一、近畿地方においては、ここに集まった10都市が先頭に立って、より一層歴史まちづくりに関する取組を推進する。
- 二、歴史まちづくり計画認定の意義について、国の発信力強化を期待するとともに、各都市においても周知に努める。
- 三、歴史まちづくりの情報発信に関する具体的な連携を進める。
- 四、本サミットを、歴史まちづくりの情報発信、連携強化の中核的な場と位置付け、これを継続的に開催することにより、近畿地方全体において歴史まちづくりに関する機運を高める。

平成27年11月22日
近畿歴史まちづくりサミット参加都市一同
(彦根市、京都市、長浜市、宇治市、堺市、
斑鳩町、向日市、奈良市、近江八幡市、天理市)